

令和 7 年度地域包括支援センター

|                       |   | 自己評価指標                                                                        | 標記場所<br>根拠   | 南                                                                              | 花川中央                                                                                                              | 北                                                                                                      | 厚田                                                                                                | 浜益                                                                              |
|-----------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 1<br>地域包括ケアシステムの構築・推進 | 1 | 人口動態、市町村が行う介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査の結果等の量的データによって、地域の高齢者に係る現状や将来の状況等を把握しているか | 運協資<br>料/市HP | 石狩市ホームページや前年度運協資料から、地域の高齢者に係る現状や将来の状況等を把握している。                                 | 左記に示されている各種量的データにより担当地域の状況について把握できている。                                                                            | 年1回、市より人口動態、認定者情報等のデータを得ており、高齢者からの総合相談と照らし合わせながら実情を把握している。                                             | 市や保健所などからの情報から、地域の高齢者に係る現状や将来の状況等を把握している。                                                         | 圏域の人口、高齢化率や世帯状況、市が行っている介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査を参考に、地域の高齢者に係る現状や将来の状況等を把握している。 |
|                       | 2 | 介護保険事業計画、老人福祉計画、地域福祉計画等から、地域の高齢者に係る課題等を把握しているか                                | 市HP          | 石狩市高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画において石狩市における地域の高齢者に関する課題等について把握している。                   | 石狩市高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画において石狩市における高齢者に係る課題を把握できている。                                                             | 石狩市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画より、ニーズ調査及び事業所アンケートを参考に課題を把握している。                                               | 石狩市地域福祉計画、石狩市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画などをとおして、地域の高齢者に対する課題を把握している。                                       | 介護保険事業計画、老人福祉計画、地域福祉計画等から、地域の高齢者に係る課題等を把握している。                                  |
|                       | 3 | センターが行う実態調査によって、担当圏域の現状やニーズを把握しているか                                           | 運7(1)<br>②   | 担当圏域の現状やニーズを把握しているが、実態調査については未実施。                                              | 高齢者やその家族を含む地域住民からの相談、地域の集いの場への訪問や介護予防教室や認知症カフェの開催により、高齢者の心身状況や家庭環境等のニーズ把握に努めている。                                  | 個別相談でのニーズ把握は行っているが、担当圏域での実態調査としては実施していない。                                                              | 相談内容や介護予防事業のアンケート、関係機関との会議などをとおして地域の現状やニーズを把握している。                                                | R7年度、センター単独での担当圏域の実態調査は未実施。                                                     |
|                       | 4 | 相談内容や地域ケア会議等の内容を分析し、担当圏域の地域課題を把握しているか                                         | 運7(4)        | 担当圏域の課題等については、把握し分析した上で、担当地区または圏域の課題を検討する地域ケア会議を開催している。                        | 相談内容や個別の地域ケア会議の開催を通じて、担当圏域の課題を整理している。                                                                             | 個別の地域ケア会議より集約された地域課題に対し、担当圏域及び石狩圏域の地域課題検討型地域ケア会議を開催し、課題に対する取り組みを検討している。                                | 相談やケース会議内容などを分析し、担当圏域の地域課題を把握している。                                                                | 相談内容やケース会議等の内容を分析し、担当圏域の地域課題を把握している。                                            |
| 2<br>組織・運営体制          | 1 | 市町村が定めるセンターの事業の実施方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか                                  | 運6(1)<br>①⑦  | 市が定めるセンターの事業の実施方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定している。                                     | 市の運営方針に沿って、センターの事業計画を策定している。                                                                                      | 運営方針に沿った事業計画を策定している。計画策定にあたっては、事業所内全スタッフにて事業ごとの担当者を決めて取り組んでいる。                                         | 市が定める地域包括支援センター運営方針に沿って、センターの事業計画を策定している。                                                         | 市の地域包括支援センターの運営方針の内容に沿って、事業計画を策定している。                                           |
|                       | 2 | 当該年度のセンターの事業計画に、前年度の事業評価における課題への適切な対応策を含めているか                                 |              | 前年度の事業評価で取り上げた課題に対して、今年度の計画に反映させている。                                           | 前年度の事業評価の結果を踏まえて、当該年度の事業計画の策定を行っている。                                                                              | 事業計画については、前年度の事業からの継続性を意識し、研修アンケート等の結果をもとに新たな取り組みを検討している。                                              | 前年度の事業評価における課題から、センターの事業計画に立案し、対応策を含めている。                                                         | 当該年度のセンターの事業計画に、前年度の事業評価における課題へ適切な対応策を含めるよう努めている。                               |
|                       | 3 | 市町村の実施方針や担当圏域の地域課題等を踏まえ、センターの事業計画に重点目標を設定しているか                                | 運6(1)<br>②ウ  | 市の実施方針や担当圏域の地域課題等を踏まえ重点項目を策定している。                                              | 前年度の事業評価の内容を踏まえて重点項目を設定した事業計画を策定しているが、重点項目の設定に係る検討の記録はない。                                                         | 事業計画では重点項目を設定している。                                                                                     | 地域課題等を踏まえた課題を市の実施方針にそって、センターの事業計画に重点目標として設定している。                                                  | 市の実施方針や担当圏域の地域課題等を踏まえ、センターの事業計画に重点目標を設定している。                                    |
|                       | 4 | センターの事業計画の重点目標に基づいて達成状況を分析し、必要な業務改善を行っているか                                    |              | 前年度のセンターの事業計画の達成状況およびその背景を分析して、不足している部分については、改善策を検討し、時期計画に反映している。              | 前年度の事業評価を踏まえて、達成状況を確認したうえで業務や取り組みの改善を意識した事業計画としている。業務改善が図られるかは今後の計画に沿った事業実施、取り組みによる。                              | 前年度事業評価の中で課題と考えたことを事業計画に反映し、事業の中で取り組んでいる。                                                              | 事業計画の重点目標に基づいて達成状況を分析し、事業の見直しなど、必要な業務改善を実施している                                                    | センターの事業計画の重点目標に基づいて達成状況を分析し、必要な業務改善を行うよう努めている。                                  |
|                       | 5 | センター長等の責任者の役割を文書で明確に示し、職員に周知しているか                                             |              | 法人内での規定の中で明記されている。                                                             | 指定介護予防支援事業所としての運営規定やセンターの各種マニュアルにおいて管理者の役割の記載があり、各職員に周知されている。                                                     | センター長の役割を文章では明示していない。                                                                                  | センター業務の責任者の役割を文書で示し、職員に周知している                                                                     | センター長等の責任者の役割について、実施方針の中では示されていない。                                              |
|                       | 6 | センターの事業計画を共有する会議等の機会を設け、これに基づく職員個々の取組内容を確認しているか                               |              | センターの事業計画については年度初めにミーティングで共有、個々の取り組み内容の確認については、目標管理シート等を活用し管理している。             | 年度当初のセンターにおける定例のミーティングにて事業計画を共有。月1回のミーティングの中で取り組み内容や状況の確認を行っていく。                                                  | 月1回定例でセンター会議を開催しており、事業計画の進捗共有や協議の場としている。                                                               | 会議や打合せにより、センターの事業計画を共有する機会を設け、これに基づく職員個々の取組内容を確認している                                              | センターの事業計画は、業務打合せ会議の中で共有し、職員個々の取組内容を確認している。                                      |
|                       | 7 | センターの業務量を把握したうえで、業務の最適化を図るための対応を行なっているか                                       |              | ケアマネジメント件数を給付管理時に毎月確認、担当件数の調整と事業、業務の分担を行っている。                                  | センター職員の介護予防支援及びケアマネジメントの担当利用者数を確認しながら、それぞれの職種等における役割を考慮した業務の割り振りを行っている。                                           | 介護予防マネジメント業務においては、毎月給付管理件数を確認し新規ケースの振り分けや事業の役割などの調整を適宜行っている。                                           | センターの業務量を把握し、業務の業務量の調整を図るための対応を行なっている                                                             | 事業の業務分担を行うとともに、受け持ちケースの人数等のバランスを考慮しながら業務にあたっている。                                |
|                       | 8 | 特定の職員に業務が偏らず、チームアプローチを推進するために業務分担のルールや仕組みづくりを行なっているか                          |              | 各専門職の専門性を踏まえた事業に主担当として従事しているが、負担が偏ることないよう、複数担当制または、センター長がサポートすることで、業務分担を行っている。 | 主に職種ごとに役割分担をされているほか、上記にある担当件数やその時々の業務量を踏まえて、業務の割り振りを行っているが、ルールとして明文化されているものはない。（役割分担や業務の割り振りの際の参考にする資料はある）        | 月1回総合相談のケース検討を開催し進捗状況や終結判断を確認、必要に応じて相談できる環境を作っている。特に困難性の高いケースについては、複数人で担当するなど特定の職員の負担が増大しないように取り組んでいる。 | 特定の職員に業務が偏らず、チームアプローチを推進するために業務分担のルールや仕組みづくりを行なっている                                               | 事業の業務分担を行うとともに、受け持ちケースの人数等のバランスを考慮しながら業務にあたっている。                                |
|                       | 9 | センターの人材確保や定着を進めるための取組を行っているか                                                  |              | 年2回の上司との個人面談を行うことで、業務負担やメンタル面での細かなヒアリングを行っている。                                 | 法人の福利厚生の実施のほか、人材育成を目的の一つとしている人事考課や上司との定期的な面談などを通じて職員への定着に向けた取り組みを実施している。更新を要する資格においては、要件を満たすための研修への参加費も法人で負担している。 | 年2回上司との個人面談を行い、個人の状況を把握すると共に仕事をする上でのモチベーションを高めるための目標設定などを共に検討している。                                     | 年2回センター長との面談の機会を設ける、積極的な研修受講や休暇を取りやすくする等の取組を推進している。毎日、ミーティングを行い仕事の進捗状況を共有し、協力しながら仕事を行えるように心がけている。 | センター長との個人面談の機会あり。毎月の業務打合せのほか、日常的にコミュニケーションを図り、働きやすい職場になるよう心がけている。               |

| 自己評価指標 |                                                               | 標記場所<br>根拠                   | 南                                                                      | 花川中央                                                                     | 北                                                                          | 厚田                                                              | 浜益                                                            |
|--------|---------------------------------------------------------------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 10     | センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場で研修を実施しているか                 |                              | 法人内では接遇研修をはじめ様々な種類の研修会を実施している。                                         | 法人で開催する各種研修に年1回以上参加する機会がある。                                              | 法人内では経験年数、役職等に合わせた研修会が組まれている。それ以外にも専門性に特化した研修会を企画し職員が参加している。               | センター主催での職場研修は実施していない。市役所での職員向け研修や保健所主催の研修会などに参加している。            | センター主催での職場研修は実施していないが、浜ケアネットで研修会を企画、職員全員が参加している。              |
| 11     | センターに在籍する全ての職員が、計画的に職場での仕事を離れて研修（Off-JT）に参加できるようにしているか        | 運 6(1)<br>③イ                 | 研修内容としては、専門的な知識の取得に関するものや、メンタルヘルス等、多岐にわたる内容。                           | 市内外で行う集合型の各種研修や勉強会、事例検討会に加えて、WEB研修会などにも参加している。                           | 職員の希望に合わせて、職域に特化した研修や職員のスキルアップ向上を目的とした研修会への参加を積極的に促している。                   | センターに在籍する全ての職員は、少なくとも年1回以上は職場外の研修を受講している。                       | センターに在籍する全ての職員が、職場での仕事を離れて研修（Off-JT）に参加した。                    |
| 12     | センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、メンタルヘルス対策を実施しているか             |                              | 全職員に定期ストレスチェックを実施している。結果カウンセリングが必要な場合には、専門家が面談する。                      | 年1回以上のストレスチェックの実施及びメンタルヘルスの相談窓口の設置や研修会の開催が行われている。                        | 法人内で年1回ストレスチェックテストを実施している。法人内にメンタルヘルス専用相談窓口が設置されている。                       | 職場でのストレスチェックアンケートを全員に実施しメンタルヘルス対策を実施している。                       | 年一回、市職員を対象にしたストレスチェックを受けているほか、市職員課よりメンタルヘルス研修会、カウンセリングの案内がある。 |
| 13     | 個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル（個人情報保護方針）を整備しているか     | 契 約 特<br>記事項/<br>運 6(2)<br>① | 情報保護マニュアル内容については、定期的に見直しを行っている。                                        | 個人情報保護マニュアルを整備している。                                                      | 個人情報保護マニュアルをセンター内で作成し、年1回法人の監査指導を受けている。                                    | 個人情報保護マニュアルを整備している。                                             | 個人情報保護に関する市の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル（個人情報保護方針）を整備している。       |
| 14     | 個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか                                | 運 6(2)<br>④                  | 基本的には個人情報の持出しは必要最小限として、管理を徹底しているが、管理簿の作成は行っていない。                       | 個人情報の持ち出しについては漏洩防止に留意しているが管理簿の作成は行っていない。                                 | 個人ファイルの持ち出しは日誌で管理し、ケース返却を管理者がチェックしている。                                     | 個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っている                                   | 個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っている。                                |
| 15     | 市町村の方針に沿って、個人情報漏えいとセンターが受けた苦情に対して、対処および市町村への報告（共有）の体制を構築しているか |                              | 市町村の方針に沿って、個人情報漏えいと苦情の両方に対して、対処および市町村への報告の体制を整備している。また包括支援センターの契約書に記載。 | 個人情報漏洩及び苦情があった場合には市に報告する体制としているが明文化していない。                                | センターが受けた苦情については、苦情対応責任者であるセンター長が適宜対応し、市へ書面をもって報告し指導を受けている。                 | 市町村の方針に沿って、個人情報漏えいとセンターが受けた苦情に対して、対処および市町村への報告の体制を構築している。       | 市の方針に沿って、個人情報漏えいとセンターが受けた苦情に対して、対処および市への報告（共有）の体制を構築している。     |
| 16     | センターへの苦情内容をもとに業務を改善しているか                                      |                              | 苦情があった場合は、苦情処理簿に記録の上、直ちに改善検討会を行うこととしている。                               | 苦情を受理した実績なし。                                                             | 苦情が発生した際はセンター内でケースを共有し、課題と対応策をスタッフ全員で検討し確認している。                            | 今年度はセンターへの苦情はなかった。                                              | R7年度はセンターへの苦情はなかったが、苦情が寄せられた際には速やかに業務改善を行うよう努めている。            |
| 1      | 地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員、連絡先、特性等に關する情報をマップまたはリストで管理しているか | 運 7(1)<br>⑦                  | 地域の居宅介護支援事業所ケアマネジャーリストを整備している。また地域における関係機関のリストについては今後整備予定。             | 地域の支援機関のマップ及びリスト、居宅介護支援事業所で勤務する介護支援専門員一覧を整備している。                         | 担当エリアの単位町内会や高齢者クラブ等への周知活動を通じて、得られた情報をリストアップしているが、役員変更等の更新が行われていない。         | 地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員、連絡先、特性等に關する情報をリストで管理している。         | 地域における関係機関・関係者の連絡先等のリストを作成している。                               |
| 2      | 気になる高齢者等に関して、関係機関、民生委員、地域住民から連絡が寄せられるネットワーク体制を構築しているか         |                              | 町内会や民生委員への周知を継続することで日頃から、連絡しやすい関係性を確保している。                             | センター機能を周知することで関係機関や民生委員、地域住民からの連絡を受けている。                                 | 町内会役員、民生委員等、地域関係者から心配な高齢者について相談が入っている。民生委員連絡協議会等での包括周知を行い、ネットワーク強化につとめている。 | 気になる高齢者等に関して、関係機関や民生委員との定例会の会議などとおして、連絡が寄せられるネットワーク体制を構築している。   | 広報誌の定期的な発行や各種事業等で地域に出向き、地域住民とのネットワーク体制の構築に努めている。              |
| 3      | 相談経路を分析して、高齢者等への支援に必要な新たな支援機関等と連携しているか                        |                              | 日頃から関係機関との連携に努める中で、個別ケースを通じ新たな支援機関との連携が発生した場合には、臨機応変に対応する。             | 総合相談記録から経路の整理を行っており、支援機関との連携もできている。新たに障がい分野の支援機関とは連携強化を図るための取り組みも実施している。 | 地域ケア会議個別ケース検討会等を通じ、地域課題に合わせた関係機関との連携体制を構築している。                             | 相談経路を分析して、高齢者等への支援に必要な支援機関等と連携している。                             | 相談経路を分析して、関係機関との連携を図ることができている。                                |
| 4      | 相談事例の分類方法に沿って、1年間の相談件数等を市町村に報告しているか                           | 運 協 報<br>告                   | 市が定めた分類方法のもと報告を実施。                                                     | 総合相談の件数については、市より求められている形式で報告を行っている。                                      | 地域包括運営協議会に合わせて1年間の総合相談件数等を報告している。                                          | 相談事例の分類方法に沿って、1年間の相談件数等を市町村に報告している。                             | システムに基づき分類し、共有・報告している                                         |
| 5      | 相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか                                        | 運 7(1)<br>⑧                  | 市より示されている終結条件に基づいて評価している。                                              | 終結条件は運営方針において定められており、共有されている。                                            | 総合相談事例の終結条件は市町村より示されており、その条件にそって終結、継続支援の判断を行っている。                          | 相談事例の終結条件を市町村と共有している。                                           | 市の包括支援センター運営方針にて共有されている。                                      |
| 6      | 相談事例の解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村から後方支援を得ているか                |                              | 日頃から市町村との連携の中で、困難事例対応について協力要請した場合、市町村からの協力と後方支援を受けている。                 | 困難事例において市への支援要請は適宜行っており、必要時に支援を受けることができる。                                | 困難性の高いケースについては必ず担当課へ相談し、助言を受けつつ状況に応じて市の後方支援を受けている。                         | 困難ケースなどについて、相談事例の解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村から支援を得ている。        | 困難事例に関して、市に相談し助言や支援を受けることができる。                                |
| 7      | 相談内容を分析して、対応ルールの作成や研修の開催等を行い、職員の実践力の向上に活かしているか                |                              | 相談内容を分析、同居家族に精神疾患がいる場合に、関連する障害相談支援事業所との連携が必要であるとのことで研修会を実施。            | 総合相談の傾向などから地域課題などを抽出し、必要に応じた研修会等を実施し、支援の質向上に努めている。                       | 月1回事例検討会を開催し、終了ケースについても関係機関の参加を募り、支援の振り返りと課題に対する取り組みを検討している。               | ケース検討会などで関係機関の協力を得ながら、対応ルールの作成や疾病理解のための助言をもらい、職員の実践力の向上に活かしている。 | 相談内容の分析に基づいた研修の開催等は実施できなかった。                                  |

| 3<br>総合相談支援事業 | 自己評価指標 |                                                                     | 標記場所<br>根拠   | 南                                                     | 花川中央                                                                                          | 北                                                                                                                               | 厚田                                                           | 浜益                                                                     |
|---------------|--------|---------------------------------------------------------------------|--------------|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
|               | 8      | 夜間・早朝の窓口または平日以外の窓口（連絡先）を設置して住民に周知し、家族介護者等が相談しやすい環境を整えているか           | 運 6(1)<br>⑥ア | 携帯電話転送による時間外や休日での、相談体制を継続している。                        | 夜間、早朝などの窓口は代表電話番号としており、連絡先として周知されているが、夜間や早朝、休日の窓口であることを明文化しての周知は行っていない。                       | 夜間・早朝・休日の窓口は、事業所電話が転送されセンター長にて受ける体制をとっている。介護予防ケアマネジメント担当利用者に対しては周知を行っているが、ホームページ等には掲載していない。                                     | 夜間・早朝の窓口または平日以外の窓口（連絡先）を設置して住民に周知し、家族介護者等が相談しやすい環境を整えている。    | 夜間・早朝、土日祝祭日は支所守衛室に電話がつながり、必要に応じて担当者に連絡をいただき対応している。パンフレット/HPでの周知はしていない。 |
|               | 9      | 支援が必要な家族介護者を早期に発見するための取組を行っているか。                                    |              | ケース内容に応じ児童、障害、精神、生活困窮等の関連期間と連携しチームでの関わりを行っている。        | 高齢分野以外の支援機関や行政の部署と連携して、支援を必要とする介護者の支援に取り組んでいる。                                                | 障害相談支援事業所、引きこもり相談センター、生活困窮相談窓口、子育てセンター等、関係機関とは世帯への支援を意識して情報共有している。また共に研修会を開催、所内の事例検討会へのアドバイザー依頼等、連携強化に取り組んでいる。                  | 支援が必要な家族介護者を早期に発見するために民生委員の会議に行き、情報交換をしている。                  | 家族に支援が必要な状態にある際、関係機関と連携し、早期発見・早期対応に取り組んでいる。                            |
|               | 10     | 家族介護者に対するアセスメントを行い、状態やニーズに応じて適切な社会資源に関する情報を提供しているか                  |              | 通常のアセスメントの場面で、家族介護者に対するアセスメントを行っている。                  | 家族介護者の状況の把握に努めて、必要に応じた支援機関などの資源の情報提供を行っている。                                                   | アセスメントに基づいて、必要な関係機関へつないでいる。                                                                                                     | 家族介護者に対するアセスメントを行い、状態やニーズに応じて適切な社会資源に関する情報を提供している。           | 家族介護者に対しても、その状態やニーズに応じて適切な社会資源に関する情報を提供している。                           |
|               | 11     | 家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか                           | 運 7(1)<br>⑨  | 包括ケアシステムの中で、相談件数、内容を把握している。                           | 家族介護者の相談は日頃の相談記録において整理されている。                                                                  | 総合相談を受けたものに関しては、ニーズや担当者、件数の把握も兼ねて入力を行っている。家族介護者からの相談件数や相談内容の記録・取りまとめとしては行っていない。                                                 | 家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめている。                    | 相談者、相談内容をシステムに記録している。                                                  |
|               | 12     | 相談者とともに複合的課題を整理してニーズを明確にしているか                                       |              | 複合的課題については、関係機関との連携を保ちながら、課題を1つずつ整理している。              | 複合的な課題のある世帯の状況について、アセスメントのうえニーズを抽出して必要に応じた支援に努めており、その旨の記録はしているが、別にフォーマットを作成して取りまとめするには至っていない。 | 複合的な課題を持つケースについては地域ケア会議個別ケース検討会を実施し、ケースから見える地域課題を明らかにし会議録として記録を残している。                                                           | 相談者とともに複合的課題を整理してニーズを明確にしている。                                | 総合相談等で把握し、相談の中で課題整理を行いニーズの明確化に努めている。                                   |
|               | 13     | ニーズに応じて適切な社会資源につなげ、必要に応じてつなげた社会資源と協働しているか                           |              | ニーズや希望を把握し、適切な社会資源へのつなぎを行っている。                        | ニーズに応じて支援機関などの資源に繋いだ場合も必要に応じて、その後も協働している。記録は整備しているが、別にフォーマットを作成して取りまとめするには至っていない。             | ニーズに応じて社会資源や関係機関へつなぎ、総合相談記録として利用者個人の記録に残している。データや紙面で記録はしていない。                                                                   | ニーズに応じて適切な社会資源につなげ、必要に応じてつなげた社会資源と協働している。                    | ニーズに応じて適切な社会資源につなげ、必要に応じて協働し対応にあたっている。                                 |
|               | 14     | 相談内容を整理して、複合的な課題を持つ世帯数・人数・内容等の実態を把握しているか                            |              | 記録上で確認することはできる。                                       | 相談や対応した内容は記録しているが、総合的な実態把握のための整理までは行えていない。                                                    | 相談内容は記録しているが、データや紙面での記録はしていない。                                                                                                  | 相談内容を整理して、複合的な課題を持つ世帯数・人数・内容等の実態を把握している。                     | 複合的な課題を持つ世帯数・人数・内容等の実態を把握している。                                         |
|               | 15     | 相談内容を分析して、複合的な課題を持つ世帯の相談対応の改善に活かしているか                               |              | 相談内容を分析を行い、複合的な課題を解決する為になにが必要なのか、研修等を行っている。           | 相談内容や対応の実績を踏まえて、知識や技術のインプットや支援の質を高めるための連携強化のための研修などを行っている。                                    | 複合的な課題を持つ世帯への相談対応として地域ケア会議個別ケース検討会を開催。個別ケースから抽出された地域課題に対しては、圏域の地域包括支援センター合同で地域課題検討型地域ケア会議を開催し、内容に応じて市内居宅介護支援事業所等へ向けた研修会を開催している。 | 相談内容を分析して、複合的な課題を持つ世帯の相談対応の改善に活かしている。                        | 相談内容の分析結果をもとに、相談対応の改善までは実施できていない。                                      |
| 4<br>権利擁護事業   | 1      | 市町村から共有されている成年後見制度の市町村長申立てに関する判断基準を確認しているか                          | 別 途 周 知      | 市から共有されている判断基準を確認し、センター職員で把握していく。                     | 市より市長申し立てに関する判断基準が示されており、確認している。                                                              | 市町村より成年後見制度の市町村長申立てに関する判断基準を示されており、センター職員間で共有している。                                                                              | 市町村から共有されている成年後見制度の市町村長申立てに関する判断基準を確認している。                   | 市と共有されている。                                                             |
|               | 2      | 消費者被害に関する情報を、民生委員、介護支援専門員、ホームヘルパー等へ提供しているか                          | 運 7(2)<br>③  | 消費者被害に関するリアルタイム情報を常に準備するように心掛けている。                    | ケースごと必要に応じて情報を提供を行っており、記録にも残している。                                                             | 消費生活センターより出される消費者被害に関する情報を、市内介護支援専門員に向けてメールにて情報発信している。                                                                          | 消費者被害に関する情報を、民生委員や関係機関に提供している。                               | 介護予防に資する各種事業の中で、市消費生活センターの出前講座を実施し、広く区民へ情報提供している。                      |
|               | 3      | 消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、適切に対応しているか        | 運 7(2)<br>③  | 必要性に応じて相談を実施している。また消費者被害ネットワーク委員をセンター内に1名配置し会議出席している。 | ケースごと必要に応じて情報提供を行っており、市の消費生活センターとも連携し、それらの記録も残している。                                           | 消費者被害を疑う相談を受けたケースについては、市の消費生活センターへ相談し対応を協議している。その経過については支援経過記録として保管している。                                                        | 消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、適切に対応している。 | 令和7年度は相談事例がなかったが、消費者被害の相談を受けた際は、消費生活センターや必要に応じて警察にも相談し、対応するよう努めている。    |
|               | 4      | 高齢者虐待事例および高齢者虐待が疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか                       | フ ロ ー 図      | 市から高齢者虐待対応における、対応フローが示されておりセンター内共有している。               | 高齢者虐待における対応フローについて、市より示されており共有している。                                                           | 高齢者虐待対応に関する国マニュアルを踏まえつつ、石狩市の対応フローの提示を受けており、その活用についても市主催の研修会で対応スタッフへ周知されている。                                                     | 高齢者虐待事例および高齢者虐待が疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有している。                | 高齢者虐待対応の流れについて、市から示されたフロー図により共有している。                                   |
|               | 5      | センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論、報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか |              | 担当社会福祉士に加え専門3職種で、情報共有し対応策を検討している。                     | 高齢者虐待やそれが疑われる事案について、対応フローに沿って必要な共有、議論等を行うことができています。                                           | 市の担当者、市内全地域包括支援センター社会福祉士が月1回連絡会を開催、その中で高齢者虐待事例を共有しつつ、対応策について検討している。また、市主催で虐待対応職員に向けて年2回、スキルアップ研修会を開催している。                       | 市や市内包括支援センターが開催する高齢者虐待防止の会議や研修会で、高齢者虐待事例への対応策を検討している。        | 市が開催する高齢者虐待防止に関する会議で、高齢者虐待事例への対応策を検討している。                              |

|   |                     | 自己評価指標                                                                     | 標記場所<br>根拠            | 南                                                                              | 花川中央                                                                          | 北                                                                                  | 厚田                                                                   | 浜益                                                                                                 |
|---|---------------------|----------------------------------------------------------------------------|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 | 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 | 1 担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ（事業所ごとの主任介護支援専門員、介護支援専門員の人数等）を把握しているか               | 運 7(3)<br>①74         | 毎年市内の居宅介護支援事業所訪問にて、事業所ごとの人員データを確認。                                             | 定期的な居宅介護支援事業所への訪問を通じて、居宅介護支援事業所のデータを収集し把握することができている。                          | 年1回居宅介護支援事業所訪問を実施し、実態把握をしつつ集約したデータをまとめている。                                         | 担当圏域における居宅介護支援事業所のデータを把握している。                                        | 圏域に居宅介護支援事業所は1箇所のみ（包括と兼務）                                                                          |
|   |                     | 2 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類・件数を把握した上で、研修会、事例検討会、地域ケア会議等を開催しているか            | 運 7(3)<br>①74         | 介護支援専門員からの相談事例に対し、内容を分析、分類し全体共有が望まれるケースについては、研修会を企画している。                       | 介護支援専門員からの相談に応じて、必要な支援、研修企画や地域ケア会議を行うことができている。                                | 介護支援専門員から受けた相談事例の内容については、年1回地域包括運営協議会の中で内容、件数を報告している。また、ケースの状況に合わせて地域ケア会議等を開催している。 | 定期的に介護支援専門員から事例の情報提供を受け、相談事例の分析を行い、事例検討等を開催している                      | 居宅介護支援事業所が包括と兼務。困難事例等は事例検討会を開催し検討している。                                                             |
|   |                     | 3 担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者（例：医療機関や地域における様々な社会資源など）との意見交換の場を設けているか | 運 7(3)<br>⑥           | 市内居宅介護支援事業所への訪問結果から、障害支援事業所を交えた研修会の必要性を確認。障害分野の知識を深め、意見交換する場を設けることで介護との連携を深める。 | 居宅介護支援事業所からのヒアリングを通じて、関係機関との連携強化の取り組みを行っている。                                  | 担当圏域の介護支援専門員の実態把握、研修会を経て、高齢・障害分野の行政担当課と相談機関との連絡会議を立ち上げている。                         | 定期的に介護支援専門員からの相談を受け、関係機関や関係者と意見交換の場を設けている。                           | 浜益ケアマネージャーネットワーク会議を主催。区内介護施設や診療所、浜益支所に所属するケアマネ有資格者が参加し、意見交換を行う場を設けている。                             |
|   |                     | 4 介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか   | 運 7(3)<br>⑦           | 地域住民に対しての出前講座を実施する中で、介護予防・自立支援に関する意識共有を行っている。                                  | 地域住民の介護予防に資する出前講座や介護予防教室などの開催を行っている。                                          | 地域住民に向け権利擁護、介護予防、相談窓口周知等、様々な視点から講話活動を実施した。                                         | 高齢者クラブやJA女性部などに対し、介護予防・自立支援に関する講話を実施している。                            | 通年で地域に出向き、介護予防に資する各種事業を実施している。                                                                     |
|   |                     | 5 介護支援専門員を対象にした研修会や事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか                 | 運 7(3)<br>③           | 介護支援専門員を対象にした研修会や事例検討会等をメール等により、指定居宅介護支援事業所に示している。                             | 介護支援専門員の資質向上のための研修を企画し開催しているが、年度当初に開催内容や時期などの明示は行えていない。                       | 年度当初、市内居宅介護支援事業所訪問を実施し、年度中の研修会開催を示している。年度中に介護支援専門員向けの研修会を2回開催している。                 | 年度当初に事例検討会等の開催計画を策定し、指定居宅介護支援事業所に示している。                              | 居宅介護支援事業所が包括と兼務。研修会や事例検討会の開催については、居宅介護支援事業所に直接案内がある。                                               |
| 6 | 地域ケア会議              | 1 センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員、会議参加者、地域の関係機関に対して周知しているか                      | 運 7(4)<br>③           | センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員、会議参加者に説明しているが、すべての地域関係機関には周知できていない。                 | 運営方針において地域ケア会議の開催について方針を示されておりセンター職員にも共有されているが、開催の有無を問わず関係機関に対して周知することはしていない。 | 地域ケア会議開催にあたり会議次第を作成し、会議開催の目的を記載。司会者にて参加者全員へ向けて説明をし共通認識をもって会議を開催している。               | センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員、会議参加者、地域の関係機関に対して周知している。                  | センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員、会議参加者、地域の関係機関に対して周知している。                                                |
|   |                     | 2 センター主催の地域ケア会議において、多職種等と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか     | 運 7(4)<br>①/7(5)<br>④ | センター主催の地域ケア個別会議では、その事例の性質に関連する機関を招集し、自立支援・重度化防止等に資する観点から検討や決定を行っている。           | 個別事例検討地域ケア会議においては、関係する多様な職種を招集して課題抽出と対応の検討を行っている。                             | センター主催の個別の地域ケア会議において、複数の課題を抱えながらも地域で生活を続ける為、多職種で協議しながら対応を検討している。                   | センター主催の地域ケア会議において、多職種等と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じている。 | R7年度、市主催の自立支援型地域ケア会議への1件事例提出を行ったほか、アドバイザーとして他事例の検討に参加している。個別事例の地域ケア会議において、自立支援、重度化防止を意識し検討を実施している。 |
|   |                     | 3 市町村が共有した地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で適切に対応しているか               |                       | 個人情報の取扱方針に基づき継続対応していく。                                                         | 個人情報保護の方針に沿って適切に対応している。                                                       | 地域ケア会議開催にあたり、参加者へ個人情報の取り扱いについて説明し、署名をもらっている。                                       | 市町村が共有した地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で適切に対応している。           | 市から示された地域ケア会議における個人情報の取り扱い方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応している。                                           |
|   |                     | 4 地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築・実行しているか                   | 運 7(4)<br>①E          | センターの個別事例については、モニタリングする細かなルールや仕組み作りについて、不十分である。                                | 個別事例検討地域ケア会議で決定された方針に基づいて対応した結果について、その後の状況の把握（モニタリング）を行っている。                  | 地域ケア会議で検討した内容はその都度実行し、結果についても随時モニタリングされている。                                        | 地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築・実行している。               | 個別事例に関して、随時モニタリングを行っている。                                                                           |
|   |                     | 5 センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか                              | 運 7(4)<br>①ウ          | 議事録はデーターと書面にて共有保管。                                                             | 開催された地域ケア会議において議事録を作成し関係機関で共有できている。                                           | 地域ケア会議に関しては議事録を作成している。                                                             | センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有している。                          | 議事録や検討事項をまとめて、参加者間で共有している。                                                                         |
|   |                     | 6 センター主催の地域ケア会議（地域ケア個別会議）において、地域課題の可能性のある課題を抽出しているか                        |                       | 地域課題については、その都度市に報告している。                                                        | 事例ごとに地域課題の検討、抽出を行っている。                                                        | 地域ケア会議個別ケース検討会では、会議の中で参加者全員で地域課題について意見交換し共有している。                                   | センター主催の地域ケア会議（地域ケア個別会議）において、地域課題の可能性のある課題を抽出している                     | 事例検討の際は、なるべく地域課題の可能性のある事例提出に心がけている。                                                                |
|   |                     | 7 センター主催の地域ケア会議（地域ケア推進会議）において、地域課題や自立促進要因について共有し、その後の対応を検討しているか            | 運 7(4)<br>②           | 地域ケア推進会議の中で、地域課題や自立促進要因について共有し、その後の対応を検討している。                                  | 圏域3包括で地域課題の抽出と対策の検討を実施しており、市職員も参加しながら、その後の対応を行っている。議事録も作成している。                | 個別ケースから抽出された地域課題に対しては、圏域の地域包括支援センター合同で地域課題検討型地域ケア会議を開催し課題に対する対応を協議している。            | 地域ケア会議において、地域課題や自立促進要因について共有し、その後の対応を検討している。                         | センター主催の地域ケア会議において、地域課題や自立促進要因について共有しその後の対応について検討している。                                              |
|   |                     | 8 センター主催の地域ケア会議（地域ケア推進会議）において把握した地域課題や対応等を、市町村に報告しているか                     | 運 7(4)<br>①ウ          | 地域ケア推進会議で出された内容や決定事項、各種データ等を市と共有している。                                          | 圏域3包括で地域課題の抽出と対策の検討を実施しており、市職員も参加しながら、その後の対応を行っている。議事録も作成している。                | 地域ケア会議個別ケース検討会には、担当課職員も参加していただいている。参加が難しかった場合もケースの経過は適宜報告している。                     | センター主催の地域ケア会議において把握した地域課題や対応等を、市町村に報告している                            | センター主催の地域ケア会議において把握した地域課題や対応を市に報告している。                                                             |
|   |                     | 9 地域課題の整理・分析・対応等を行なうために、市町村レベルの地域ケア会議（地域ケア推進会議）等に参加または資料提出しているか            |                       | 地域ケア推進会議に参加し、地域課題の整理・分析・対応した結果に基づき今後の対応を検討した。                                  | 市主催の地域ケア推進会議にセンター職員が参加し、センターで把握している地域課題等を踏まえて必要な発信と検討を行っている。                  | 市主催の地域ケア推進会議において、テーマに沿った意見交換を実施している。                                               | 地域課題の整理・分析・対応等を行なうために、市町村レベルの地域ケア推進会議に資料提出と参加している。                   | 市主催の地域ケア推進会議に参加している。                                                                               |



|                          | 自己評価指標 |                                                                          | 標記場所<br>根拠    | 南                                                        | 花川中央                                                                | 北                                                                                                         | 厚田                                                                       | 浜益                                                                                    |
|--------------------------|--------|--------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 7<br>介護予防ケアマネジメント・介護予防支援 | 1      | 自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関して、市町村から示された基本方針を、センター職員及び介護支援専門員に周知しているか       | 運 7(5)①7      | 市町村から示された基本方針を、センター職員で共有している。                            | 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントにおける基本的な方針を示されており、センター職員及び介護支援専門員と共有されている。      | 市町村から示された基本方針を、センター職員で共有している。                                                                             | 自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関して、市町村から示された基本方針を、センター職員及び介護支援専門員に周知している。       | 市の地域包括支援センター運営方針に記載された項目について、センター職員に周知している。                                           |
|                          | 2      | 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけているか | 運 7(5)①イ      | インフォーマルサービスの情報収集について、積極的に関わっている。                         | 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントにおけるケアプランにおいて多様な地域の社会資源が位置付けられているケースがある。        | 介護予防ケアマネジメント業務においては、認定更新時及び新規ケース開始時に所内においてケース検討会を開催し、ケアプランチェックを実施。その中で、自立支援、インフォーマルな社会資源の位置づけ等を検討している。    | 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけている。 | 社会資源の少ない地域であるが、ご近所同士や地域の支えあい、介護予防に資する各種事業や通いの場への参加もインフォーマルサービスとしてケアプランに位置づけている。       |
|                          | 3      | 利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか                              | 別 途 周 知       | セルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用している、支援方法を確認し、統一していく。  | 市よりセルフマネジメント推進のための視点及び手法について示されており、センター内で共有及び活用されている。               | 市から示された「高齢者のセルフケアマネジメント推進のための視点及び支援の手法」をもとに生活支援コーディネーターと連携し、事業を展開した。                                      | 利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用している。                              | 市より高齢者のセルフケアマネジメント推進のための視点及び支援の手法について例示されており、職員で共有・活用するように努めている。                      |
|                          | 4      | 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録および進行管理を行っているか                         | 運 7(5)①エ      | 全体の進行管理は随時実施している。                                        | 居宅介護支援事業所に介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントを委託した場合の指針が市より示されており、センター内で進捗管理されている。 | 介護予防ケアマネジメントの進行管理表を作成し、ケアマネジメントの進行を管理している。                                                                | 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録および進行管理を行っている。                         | R7年度は2件。委託があった場合、毎月実施報告を確認し、記録および進行管理している。                                            |
|                          | 5      | 市町村から示された介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針を遵守しているか         | 運 3(1)/7(5)イエ | 市から示された介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の指針に基づいて、毎月市への報告を行い情報共有。 | 居宅介護支援事業所に介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントを委託する場合の指針を遵守している。                    | 年1回地域包括支援センター運営協議会の場で給付管理サービス事業所の占有率を公表し、評価をけている。                                                         | 市町村から示された介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針を遵守している。         | 市の地域包括支援センター運営方針に示された内容を遵守している。                                                       |
| 8<br>包括的支援事業（社会保障充実分）    | 1      | 在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対して、相談を行っているか                                      |               | 相談窓口の情報についてはセンター内で共有。                                    | 在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口はない。                                           | 医療機関との連携が必要なケース等、必要時相談窓口に対して相談しながら対応に当たっている                                                               | 在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対して、相談を行っている。」                                     | 区内医療機関は国保診療所のみ。毎月のケースカンファレンスの中で、地域の課題共有についても意識しながら行っている。                              |
|                          | 2      | 生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターおよび協議体とともに、地域における高齢者のニーズや社会資源について協議を行っているか   | 運8(3)         | 生活支援コーディネーターと定期的に高齢者のニーズや社会資源について協議している。                 | 生活支援コーディネーターとセンターで定期的に高齢者のニーズや社会資源について協議する場を設けている。                  | 生活支援コーディネーターと共に地域サロンを訪問した他、月1回の事例検討会・ケース検討会に参加いただいた。地域の実態把握やインフォーマルサービスの利用、地域課題の検討に生かしている。                | 生活支援コーディネーターがセンター職員として配置されており、地域における高齢者のニーズや社会資源について協議を行っている             | 生活支援コーディネーターが包括支援センターに配置されており、毎月のミーティングの他に、随時協議を行っている。第2層協議体の自治会連合会総会に参加し、情報提供を行っている。 |
|                          | 3      | 認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員またはチームオレンジコーディネーターと、支援対象者に関する情報共有を図っているか          | 運8(2)         | 認知症地域支援推進員直接得た情報についても、センターに情報提供され共有している。                 | 認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員事業において支援対象者等に関する情報共有が行われている。                 | 認知症地域支援推進員として職員を配置し、市内推進員と共に定期的に認知症ケースの情報共有を行っている。認知症初期集中支援チームへの相談を含め、認知症に関する相談対応について共有したり、合同で事業に取り組んでいる。 | 認知症地域支援推進員などの協力を得て、認知症サポーター養成講座開催や認知症カフェ、認知症ランを地域で実施している。                | 具体的な対象者の情報共有は行っていないが、R7年度も認知症地域支援推進員の協力を得て「RUN伴」を実施することができた。                          |
|                          | 4      | 包括的支援事業の充実のために、医療関係者と合同の事例検討会や勉強会に参加しているか                                | 運8(1)         | 研修会に医療関係者を招き在宅支援における、チームアプローチについて確認する機会を作っている。           | 医療関係者にも参加してもらう研修会や事例検討会の開催はあるが包括的支援事業の充実を目的としたものではない。               | 市内や近隣市町村の医療機関が開催する研修会等に参加し、医療関係者との意見交換を行っている。                                                             | 定期的に訪問看護師が参加する介護サービス事業所との事例検討を実施している。                                    | 浜益ケアマネージャーネットワーク会議に診療所看護師がメンバーとして参加している。                                              |